



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 丸順

コード番号 3422 URL <http://www.maruiun.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 今川 喜章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 小高 光一

TEL 0584-89-8181

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	16,633	△24.0	△218	—	△367	—	△631	—
23年3月期第2四半期	21,900	17.8	1,158	—	933	—	467	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △830百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 242百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△64.64	—
23年3月期第2四半期	47.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	30,278	7,219	15.7
23年3月期	31,681	8,168	17.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 4,740百万円 23年3月期 5,589百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期末の配当につきましては、今後の経営環境が不透明であることなどから、現時点では未定とし、業績動向等を総合的に勘案し、あらためてお知らせいたします。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	△12.1	600	△73.4	300	△83.6	50	△92.7	5.12

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	9,771,000 株	23年3月期	9,771,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	4,855 株	23年3月期	4,855 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	9,766,145 株	23年3月期2Q	9,766,218 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧米において経済状況の回復が減速し低成長が続いたほか、好調だったアジア経済で一部回復が鈍化するなど、全体として低調に推移しました。日本国内においては、平成23年3月に発生した東日本大震災による供給面の制約はほぼ解消され、復興需要に後押しされる形で経済は回復基調に転じました。しかしながら、円高の進行や雇用情勢の悪化など、景気下振れのリスクには引き続き注意が必要となっております。

当社グループが属する自動車業界では、震災発生後は減産が著しかったものの、夏場には震災以前の水準近くまで生産は持ち直しました。これは、予想を上回るペースで復旧が進捗したことに加え、業界全体で電力不足などの諸問題に取り組んだことが大きな要因であります。

このような状況のもと、当社グループは、売上高、利益ともに前年度の水準を大きく下回る中で震災からの復旧を目指し、固定費の削減を進め経営体質のスリム化を図ることで、外的環境に影響されない「ボトム経営体質」の構築に注力してまいりました。また、生産に関わる品質の向上や安全性の確保、強みとなるコア技術の深化といった、グローバル企業としての基盤構築にも取り組んでまいりました。

しかしながら、日本のみならずタイ、広州等における減産の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は16,633百万円(前年同四半期比24.0%減)、営業損失は218百万円(前年同四半期は1,158百万円の営業利益)、経常損失は367百万円(前年同四半期は933百万円の経常利益)、四半期純損失は631百万円(前年同四半期は467百万円の四半期純利益)となりました。

報告セグメントごとの業績は、以下のとおりであります。

(丸順)

丸順においては、当社のメイン商品である車体プレス部品では、東日本大震災の影響により主要顧客が一時的に減産をしたため、業績に大きな影響がありました。なお、その後早期に復旧を果たし、生産は堅調に回復をしております。金型においては、主要顧客からの発注が延期されるなどしたため、一部生産計画を変更し、対処してまいりました。

以上の結果、売上高は6,425百万円(前年同四半期比29.2%減)、経常損失は180百万円(前年同四半期は38百万円の経常利益)となりました。

(タイ)

タイにおいては、タイ国内及び周辺諸国地域における自動車産業の成長に支えられ、生産は堅調に推移していましたが、日本における震災以降、日本からの部品調達が難航したため、主要顧客の生産が停滞し、大きく減産する状況となりました。

以上の結果、売上高は3,677百万円(前年同四半期比23.3%減)、経常損失は153百万円(前年同四半期は186百万円の経常利益)となりました。

(広州)

広州においては、中国における自動車需要の拡大は底堅いものの、日本の震災の影響による部品調達難により、主要顧客の生産が停滞し、減産いたしました。また、同業他社や現地ローカル部品メーカーとの受注競争が激化しているほか、主要顧客の生産車種の切り換わりもあったため、売上高、利益ともに減少するなど、全体として厳しい状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は3,974百万円(前年同四半期比30.7%減)、経常損失は5百万円(前年同四半期は635百万円の経常利益)となりました。

(武漢)

武漢においては、中国国内の自動車需要が前年に引き続き拡大しており、主要顧客が増産しました。そのため、日本の震災の影響は各所に見られたものの、生産に大きな乱れは無く、当社の生産も好調に推移しました。

以上の結果、売上高は2,375百万円(前年同四半期比22.9%増)、経常利益は134百万円(前年同四半期比25.7%増)となりました。

(四輪販売)

四輪販売においては、車検及び修理を行うサービス部門は前年度並みの売上高を維持し好調だったものの、新車・中古車の販売部門においては、売上高は減少いたしました。特に新車販売部門では、前年度実施されたエコカー補助金制度で買換え需要の先食いがあったほか、震災の影響により一時的な商品の供給不足となるなど、大きな影響がありました。

以上の結果、売上高は917百万円(前年同四半期比39.2%減)、経常損失は12百万円(前年同四半期は50百万円の経常利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当社グループの当第2四半期連結会計期間末における資産総額は、30,278百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,402百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が421百万円増加、受取手形及び売掛金が869百万円減少、有形固定資産が479百万円減少したことが要因であります。

負債総額は23,059百万円となり、前連結会計年度末と比較し、453百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,177百万円減少、短期借入金が78百万円増加、長期借入金が788百万円増加、リース債務が196百万円減少したことが要因であります。

純資産は7,219百万円となり、前連結会計年度末と比較し、949百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金が650百万円減少、その他有価証券評価差額金が224百万円減少したことが要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

タイでの平成23年7月以降の豪雨による洪水により、タイ王国アユタヤ県のサハラタナナコン工業団地にある当社子会社タイ・マルジュン社(THAI MARUJUN CO.,LTD)が被害を受けております。現在、当社から派遣している駐在員及び現地従業員についての人的被害は報告されておきませんが、工場及び事務所に冠水の被害が及んでおり、平成23年10月4日より操業を停止しております。

現時点において、この操業停止が当連結会計年度の業績に与える詳細な影響は不明確となっており、合理的な算定が困難となっているため、平成23年6月20日に公表いたしました通期連結業績予想を変更しておりません。状況が明確になり合理的な算定が可能となり次第、開示いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	595	1,017
受取手形及び売掛金	5,926	5,056
商品及び製品	332	336
仕掛品	1,312	1,352
原材料及び貯蔵品	618	678
その他	808	837
貸倒引当金	△4	△6
流動資産合計	9,590	9,272
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,358	5,177
機械装置及び運搬具(純額)	5,076	4,660
工具、器具及び備品(純額)	4,721	4,314
土地	1,913	1,907
リース資産(純額)	1,175	996
建設仮勘定	1,410	2,119
有形固定資産合計	19,655	19,175
無形固定資産	128	114
投資その他の資産		
その他	2,324	1,733
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	2,307	1,716
固定資産合計	22,090	21,005
資産合計	31,681	30,278

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,357	4,180
短期借入金	7,583	7,662
リース債務	373	363
未払法人税等	149	16
賞与引当金	231	234
その他	1,280	1,573
流動負債合計	14,976	14,029
固定負債		
長期借入金	6,526	7,314
リース債務	642	455
退職給付引当金	756	793
役員退職慰労引当金	89	—
資産除去債務	80	81
負ののれん	26	21
その他	413	362
固定負債合計	8,535	9,029
負債合計	23,512	23,059
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,037	1,037
資本剰余金	935	935
利益剰余金	4,363	3,712
自己株式	△2	△2
株主資本合計	6,334	5,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	402	178
為替換算調整勘定	△1,147	△1,121
その他の包括利益累計額合計	△745	△942
少数株主持分	2,579	2,478
純資産合計	8,168	7,219
負債純資産合計	31,681	30,278

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	21,900	16,633
売上原価	18,953	15,193
売上総利益	2,946	1,439
販売費及び一般管理費	1,788	1,657
営業利益又は営業損失(△)	1,158	△218
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	10	12
助成金収入	—	68
その他	28	38
営業外収益合計	41	122
営業外費用		
支払利息	233	194
為替差損	28	53
その他	4	23
営業外費用合計	266	271
経常利益又は経常損失(△)	933	△367
特別利益		
固定資産売却益	11	1
特別利益合計	11	1
特別損失		
固定資産売却損	36	—
固定資産廃棄損	11	18
減損損失	2	—
災害による損失	—	79
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	38	—
その他	9	13
特別損失合計	96	111
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	847	△477
法人税等	191	178
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	655	△656
少数株主利益又は少数株主損失(△)	188	△24
四半期純利益又は四半期純損失(△)	467	△631

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	655	△656
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△123	△224
為替換算調整勘定	△289	49
その他の包括利益合計	△412	△174
四半期包括利益	242	△830
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	137	△828
少数株主に係る四半期包括利益	105	△1

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	丸順	タイ	広州	武漢	四輪販売	
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	8,203	4,729	5,541	1,924	1,501	21,900
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	866	65	196	7	8	1,144
計	9,070	4,794	5,737	1,932	1,510	23,045
セグメント利益	38	186	635	107	50	1,017

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,017
セグメント間取引消去	△77
その他の調整額	△7
四半期連結損益計算書の経常利益	933

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	丸順	タイ	広州	武漢	四輪販売	
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	5,816	3,666	3,859	2,375	914	16,633
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	608	11	114	△0	3	737
計	6,425	3,677	3,974	2,375	917	17,370
セグメント利益又は損失(△)	△180	△153	△5	134	△12	△217

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△217
セグメント間取引消去	90
子会社配当金	△266
その他の調整額	25
四半期連結損益計算書の経常損失	△367

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

- (6) 重要な後発事象

当第2四半期連結会計期間（自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日）

「タイ・マルジュン社における冠水被害について」

当社の連結子会社であるタイ・マルジュン社は、タイ王国アユタヤ県における洪水により、本社及び工場建屋が冠水被害を受け、平成23年10月4日より操業を停止しております。

なお、これによる損害額及び翌四半期会計期間以降の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に及ぼす影響は現時点で不明であります。